

# ことわざ

下手の横好き

下手なくせに、好きで熱心である。



へ

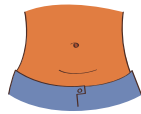
下手の横好き



臍が茶を

沸かす

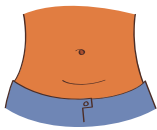
可笑しくて増えない、また、馬鹿馬鹿しくてしかたがないということ。



臍が茶を

沸かす

へ



馬子にも衣装

つまらない者でも外面を飾れば立派に見えるものだということ。



ま

馬子にも衣装



仏の顔も

三度まで

いかに慈悲深い仏様といえども、その顔を三度も睨みつけられれば、腹を立てるといふ態様で、どんなに慈悲な人でも、無法なことを何度もされれば、怒りには怒る。



仏の顔も

三度まで

ほ



身から出た錆

自分の行いの報いとして検災を蒙る。自分の悪行が元で、結果として自分が苦しむこと。



み

身から出た錆



眉に唾を塗る

顔や髪などに化かされないようにするには眉に唾を付けなさいという教えから取れないように用心すること。



ま

眉に唾を塗る



矛盾

ある人の言動や文脈などの前後が食い違っていて拗合わないこと。辻褄が合わないこと。



む

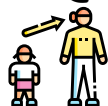
矛盾



三つ子の魂

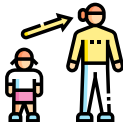
百まで

幼少時代の性格や性質は、年を取っても変わらないものだ。



み

三つ子の魂



百まで

